

佐賀県知事 様

住 所 佐賀県佐賀市水ヶ江3-10-23
団 体 名 特定非営利活動法人日本レスキュー協会
代表者職・氏名 理事長 吉永和正

佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による
寄附金活用実績報告書

令和2年4月30日付け県協第235号、令和2年8月6日付け県協第894号、令和2年11月9日付け県協第1460号、令和3年2月5日付け県協第2002号により寄附金交付決定通知のあった佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」を活用して下記のとおり事業を実施したので、佐賀県ふるさと寄附金（「県民協働の地域づくり」及び「NPO等を指定した支援」）による寄附金交付要綱の規定により、関係書類を添えて報告します。

記

- 1 活用実績報告書（様式第6号 別紙1）
- 2 収支決算書（様式第6号 別紙2）

2020年度寄附金活用実績報告書

事業名	災害救助犬・セラピードッグ事業
寄附受入額	165,960,842円
事業内容(いつ、どこで、誰が、何を、どのように実施したのかについて記載)	
<p>1. 災害救助犬・セラピードッグ事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期間(いつ): 2020年4月～2021年3月 ・場所・会場(どこで): 佐賀県内 ・主催者(誰が): 日本レスキュー協会 ・事業の要旨(何を・どのように実施したのか): <p>2020年10月23日佐賀県佐賀郡大町町進出協定締結。大町町所有の土地を紹介いただき、2021年にその場所に日本レスキュー協会佐賀県支部の拠点「Wan for all. All for Wan.」を設置予定。そのために建物や土地、施設設備に関する手続きや準備を行っている。拠点設置後に佐賀県での災害救助犬やセラピードッグの育成に着手し、九州圏域へ派遣ができる仕組みを構築する為に関係各所への協力依頼を行う等。災害発生時には、行政及びSPF(佐賀災害支援プラットフォーム)等県内のCSOと連携体制を取れるように定期的に打ち合わせや、定例会などを行った。コロナ禍の為、災害救助犬・セラピードッグを連れてのイベントの参加などを自粛。</p> <p>2. 動物福祉事業(ペットの指定避難場所の指示など行動指針の啓発活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期間(いつ): 2020年4月～2021年3月 ・場所・会場(どこで): 佐賀県内 ・主催者(誰が): 日本レスキュー協会 ・事業の要旨(何を・どのように実施したか): <p>動物福祉事業に関しては、すでに佐賀県内で活動している市民活動団体に対し中間支援的なサポートを行う。佐賀県支部の新しい拠点が完成後は、平時には一般の方向けにペットのしつけ教室を開催予定のためしつけ教室経営者に相談、またドッグランも設置予定があるためドッグラン経営者へも相談。今年度の2月に佐賀県支部の新しい拠点「Wan for all. All for Wan.」にて大規模なペットとの同行避難の訓練を行う予定の為、行政や社協、CSOに協力・参加依頼中。</p>	
事業実施の成果・効果(見込み)	
<p>佐賀県大町町に拠点を構えることにより、佐賀県内・九州圏域における災害発生時に、現場に迅速に災害救助犬を投入することが可能となる為、被災直後にまだ生存している被災者を生存しているうちに発見できる可能性が高まる。また拠点には被災して停電になっても、電気が使える非常用発電機なども常備しており、一時避難所として数組のペット同伴の被災者を受け入れることができる。拠点にはセミナールームなどもある為、県内外からの復旧支援の団体を集めて情報共有会議などを開くことも可能となる。</p> <p>また拠点では県内のしつけ教室従事者と連携を取り、一般のお客様向けにしつけ教室を開催するとともに佐賀県でのセラピードッグの育成も視野に入れていく。拠点でのセラピードッグの育成が開始されれば、佐賀県内・九州圏域における災害発生時に佐賀県から派遣することが可能となる。平常時から被災時の行動指針(ペットの指定避難場所の指示など、拠点でのペットのしつけ教</p>	

室など)を啓発することにより、被災時の混乱を軽減することができる。また拠点は昨今のコロナ事情からウィルスなどの対策も万全を期して設置される。万が一発熱者が避難に来た際にも入口でチェックを行い、隔離可能な場所を確保する。

(様式第6号 別紙2)

収 支 決 算 書

事業名		災害救助犬・セラピードッグ事業	
区 分		決算額 (円)	備 考
収 入	佐賀県ふるさと寄附金	76,027,842 円	第1回交付：7,283,650 円
			第2回交付：8,757,450 円
			第3回交付：10,987,412 円
			第4回交付：48,999,330 円
			第1～4回合計：76,027,842 円
	拠点整備費（繰越金）	67,541,231 円	想定費用 120,000,000 円→170,000,000 円の一部に充当
	収入 計	143,569,073 円	
支 出	旅費・交通費	500,000 円	40,000 円×12 回+α
	返礼品等の調達・送付に係る費用	30,411,136 円	
	人件費	4,801,800 円	・管理職 0.3 名×361,000 円×12 カ月 ・事務員 1 名×200,000 円×12 カ月 ・事務員 0.6 名×167,000 円×11 カ月
	事務所賃貸料 2 棟	636,000 円	35,000 円×12 カ月、18,000 円×12 カ月
	その他、消耗品費、事務機器購入費、事務手数料等	2,492,069 円	
	事務に係る費用	412,342 円	ふるさと納税冊子送付代
	広報に係る費用	215,390 円	ふるさと納税冊子作製費
	広告費	162,399 円	Facebook 広告費
	拠点整備費（繰越金）	67,541,231 円	想定費用 170,000,000 円の一部に充当
	拠点整備費（今回の繰越金）	36,396,706 円	想定費用 170,000,000 円の一部に充当
	拠点整備費（繰越金累計）	103,937,937 円	想定費用 170,000,000 円の一部に充当
	支出 計	143,569,073 円	

○支出区分は、謝金、旅費、印刷製本費、消耗品費、使用料等に分けて記載してください。

経理上の区分名で記載して構いません。

○領収書等は事業終了後5年間保存してください。